



たきた敏幸県議会サポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

「都心直結線」調査費を予算化

北千葉道路推進議員連盟事務局長に就任



登壇し、一般質問を行う滝田敏幸県議

県の要望で国が2億1600万円

現役最多、21度目の質問戦登壇(07～15年)

00万円の内数が計上されました。県としても、来年度当初予算案には、成田空港へのアクセス改善に係わる調査費を計上したところであり、国の調査に協力するとともに、整備に向けた国の検討がさらに加速するよう働きかけていきたいと考えています。

都心を結ぶ空港アクセス線の二翼を担う重要な路線と認識しており、また、2020年には東京オリンピック・パラリンピックの開催も控えていることから、しっかりと支援していきたいと考えています。

滝田議員 北総鉄道の経営見通しはどうなっているのか。

総合企画部長 北総鉄道は平成25年度決算では、消費税増税に伴う回数券の先買いの反動などの影響により、前年同期に比べ、営業収益が0.6%減の14億300万円と減収減益になりました。また、中長期的にも、約800億円の有利子負債や、約200億円の累積損失を抱える状況であると承知しています。

鉄道の利便性が高まれば、鉄道利用者の増加も見込めることから、鉄道事業者には引き続き努力いただくとともに、県は成田空港の更なる活性化、沿線市は住民が住みたくなるような環境整備を進めるなど、地域と鉄道の共存共栄に取り組んでまいりたいと考えています。

県議会随一の論客として注目される印西市選出の滝田敏幸県議は2月26日、定例県議会において現職県議中、最多となる通算21度目の質問戦で登壇。成田・羽田のアクセス強化を目的とする都心直結線や北総鉄道問題、北総地域道路整備、手賀沼土地改良事業、ラグビーW杯キャンプ地誘致とスポーツ振興など、県政の重要課題について森田健作知事はじめ執行部へ質疑を行いました。特に、滝田県議が県へ働き掛け、国に対し重点要望を実施してきた「都心直結線」の調査費2億1600万円が新年度予算化。さらに、県立印旛明誠高校の学級増や指定廃棄物一時保管問題ほか県政の地元課題で結果を残すなど、その政治手腕が高く評価されています。また、昨年末の定例会では、自民党県議35人が参加する北千葉道路推進議員連盟事務局長に就任。千葉県政においてますます、発言力と存在感を高めています。

県新年度予算、1兆7095億円を審議

滝田議員 成田空港と東京駅、そして空港を結ぶ都心直結線は、将来を見据えた成田空港の機能向上策としてこれ以上のものはない。成田・羽田両空港間のアクセス強化に向けた都心直結線の見通しについて、県はどのように考えているか。

森田知事 都心直結線の整備により、両空港間のアクセスがさらに改善されるとともに、千葉ニュータウンを中心とする県北西部地域の交通利便性が向上することが期待されます。

国においては、昨年度はボーリング調査、今年度は埋設物の現況調査などを実施していると聞いています。さらに、来年度政府予算では、調査費として2億16

滝田議員 2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を控え、北総鉄道の耐震化対策について、県はどのように取り組んでいくのか。

総合企画部長 鉄道施設の耐震化は、国土強靱化の観点から、国が支援を拡充しているところであり、国の平成26年度補正予算で17億3000万円、来年度予算では18億1000万円の内数として、鉄道施設の耐震対策費が計上されました。

また、県としても平成27年度当初予算案で鉄道施設耐震補助事業として、北総鉄道を含め約3億4000万円を計上しました。北総鉄道は、成田空港と

たきた敏幸・PROFILE

略歴

- 1960年 印西市大森生まれ 大森小、印西中 県立我孫子高校卒
- 1982年 同志社大学卒業
- 1999年 印西市議初当選
- 2003年 印西市議再選
- 2007年 千葉県議初当選
- 2008年 印西市消防団副団長
- 2009年 総合企画常任委員長
- 2010年 千葉県ラグビー協会長
- 2011年 千葉県議再選
- 2013年 総務防災常任委員長

現職

- 県議会 議会運営委員会委員

●県政と印西市に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

たきた敏幸事務所

〒270-1326 印西市木下1521-125 2F TEL.0476(37)4173